

建物及び設備の主な石綿使用状況（平成28年3月31日現在）

対象	使用箇所	使用状況	対応状況
吹付け石綿	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所建物の設備機器室/予備電源室 ・変電所の変圧器室 ・供給用変圧器室などの壁面や天井 	自社建物：30(37)棟 (うち1棟はひる石吹付け ^{*1} など) 供給用変圧器室：8(8)カ所	<ul style="list-style-type: none"> ・吹付け石綿を利用している自社建物のうち、29(30)棟については封じ込め等の飛散防止処理済み ・吹付け石綿は通常、施錠した室内のため、第三者の接触などによる飛散の恐れなし ・定期的に劣化度調査・浮遊濃度測定を行い、安全を確認。順次撤去中
石綿含有製品	保温材	約 6万(7万) m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・成形品のため、通常状態において飛散性なし ・定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替え予定
	シール材 ジョイントシート	約 60万(72万)個	
	あて板	約 96(97)万個	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さま宅内に取り付けた設備として、昭和63年以前製造の単相2線式30Aブレーカーの裏側に「あて板」として使用されているものあり ・成形品であり、加えて金属板に覆われていることから、飛散性はなし ・使用上、安全には問題ないが、お客様のご要望に応じて改修を実施している
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外にも石綿を含んだ建材、防音材、耐熱・耐火板などを建物および設備に使用 ・いずれも成形品であったり、機器の内部で使用されているなど、通常状態において飛散性はないが、定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替え予定 	

括弧内の数字は前年度実績(平成27年3月31日)

*1 ひる石吹付け 吹付け石綿に比べ、極薄く吹付けた石綿含有率の低い仕上げ用吹付け材